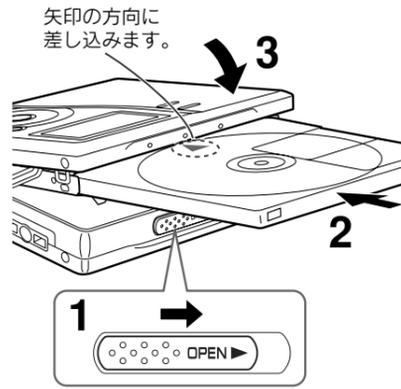
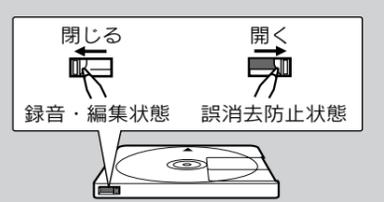
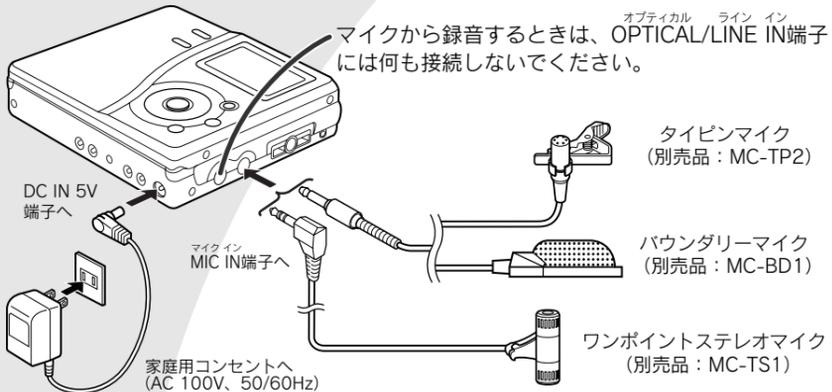
Printed in Malaysia
TINSJA020AWZZ
04C R AO ①

録音用MDを入れてください

1 MD取出しつまみを矢印の方向に動かして、ふたを開ける。
2 MDを入れる。
3 ふたを閉める。

録音するときは、誤消去防止つまみを閉じておいてください。

マイクから録音するには

Step 1 マイクをつなぎます

接続するマイクについて

- マイクは、プラグインパワー方式に対応したものであれば、市販のステレオマイクも使用できます。
- プラグインパワー方式に対応していないマイクを接続すると、正しく動作しなかったり、故障の原因となります。

プラグインパワー方式に対応したマイクとは

マイクには、動作用の電源を必要とするものと、必要としないものがあります。電源を必要とするマイクの中には、電池を内蔵するものと、本体から電源が供給されるものがあります。本体から電源が供給されることによって動作するマイクを、プラグインパワー方式対応のマイクと言います。

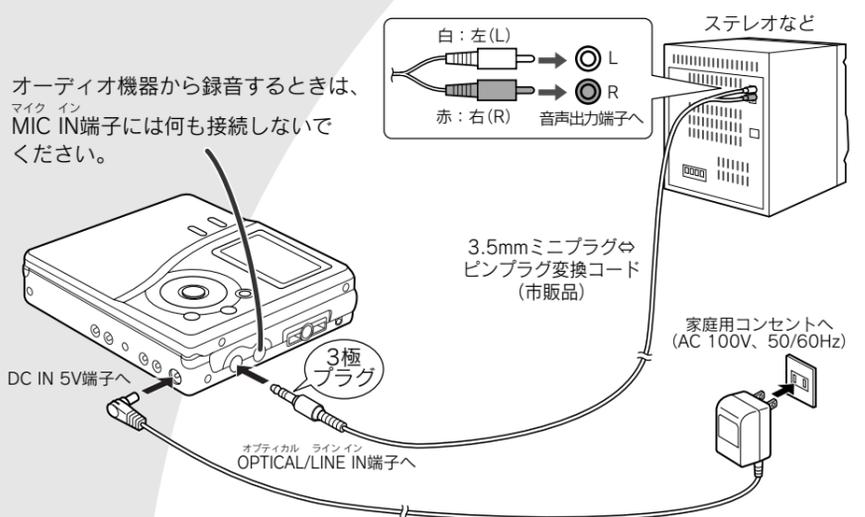
Step 2 録音用MDに録音します

3 録音レベルを調整する。
① MENU を押す。
② |◀◀○▶▶| を押して "MIC LEVEL" を選び、MENU を押す。
MIC LEVEL
ALC-H
③ |◀◀○▶▶| を押して録音レベルの種類を選び、MENU を押す。
MANUAL（手動で調整）
ALC-L ⇔ ALC-H
（自動で調整:音が大きいとき）（自動で調整:通常）
"MANUAL" を選んだときは…
|◀◀○▶▶| を押して、録音レベルを調整する。
−12dB −4dB 0dB
MIC L 20
MIC L 0〜MIC H 30
最も大きなレベルのとき、−4dBから0dBの間に振れるように調整します。

4 ▶II を押して、録音を始める。

5 録音を停止するときは ■ を押す。

オーディオ機器から録音するには

Step 1 機器をつなぎます

この接続は、オーディオ機器からアナログ信号で録音する接続方法です。このほかの機器やデジタル信号で録音する接続方法は、取扱説明書の24〜25ページをごらんください。

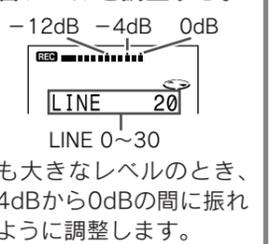
Step 2 録音用MDに録音します

CDやMDから録音するとき

1 ○REC を押す。

2 録音モードを選ぶ。
① MENU を押す。
② |◀◀○▶▶| を押して "REC MODE" を選び、MENU を押す。
REC MODE
SP/STEREO
③ |◀◀○▶▶| を押して録音モードを選び、MENU を押す。
SP/STEREO ⇔ LP2
（ステレオ録音） （2倍長時間録音）
SP/MONO ⇔ LP4
（モノラル録音） （4倍長時間録音）

3 接続した機器を再生する。

4 |◀◀○▶▶| を押して、録音レベルを調整する。
−12dB −4dB 0dB
LINE 20
LINE 0〜30
最も大きなレベルのとき、−4dBから0dBの間に振れるように調整します。

5 接続した機器を再生の一時停止状態にする。（録音したい曲の頭出しをしておく。）

6 ▶II を押す。

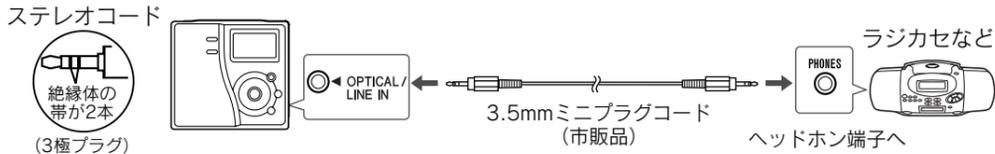
7 接続した機器を再生して、録音を始める。

8 録音を停止するときは ■ を押す。

ラジオ放送などから録音するとき

1 ○REC を押す。
2 録音モードを選ぶ。
3 接続した機器を再生する。
4 |◀◀○▶▶| を押して、録音レベルを調整する。
5 ▶II を押して、録音を始める。

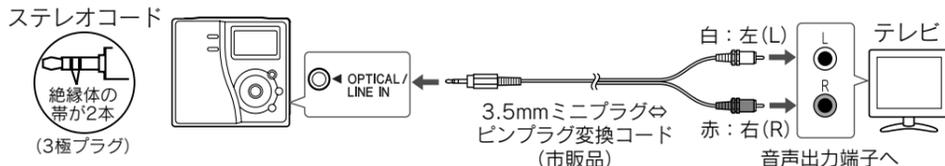
音声出力端子（LINE OUT/AUX OUT/REC OUT など）のついていないラジカセやステレオなどから録音したいのですが…

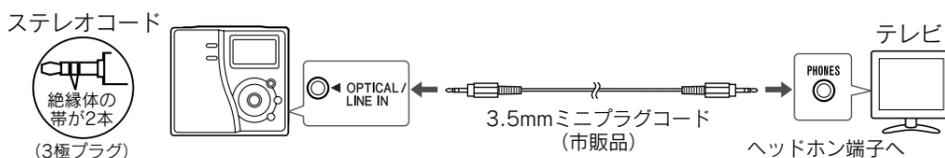
ヘッドホン端子をご利用になると録音できます。
接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

録音はアナログ録音になります。録音をするときは、録音レベルの調整が必要です。

テレビの音声を録音したいのですが…

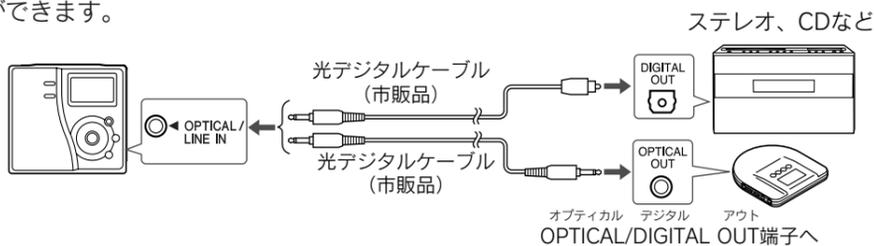
お手持ちのテレビについている出力端子の形状を確かめて、次のように接続してください。

〈音声出力端子から録音するとき〉

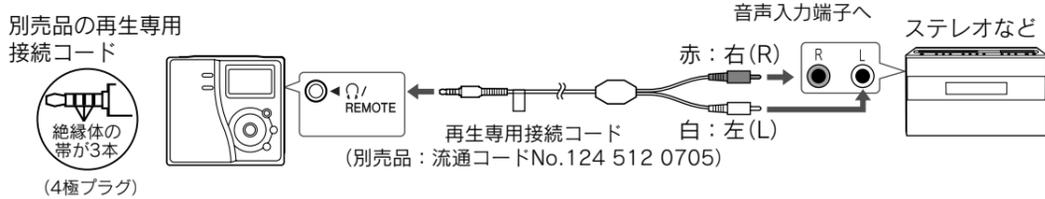
接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

〈ヘッドホン端子から録音するとき〉

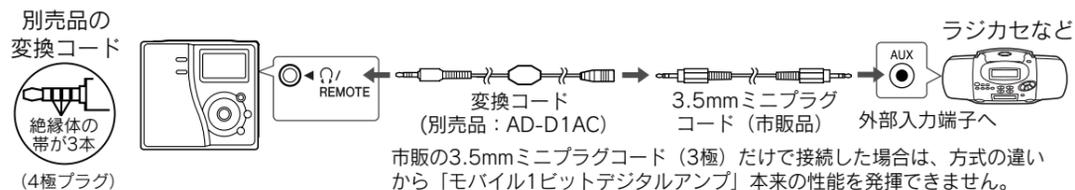
接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

上記の接続は、いずれもアナログ録音になります。録音をするときは、録音レベルの調整が必要です。

光デジタル端子から録音したいのですが…

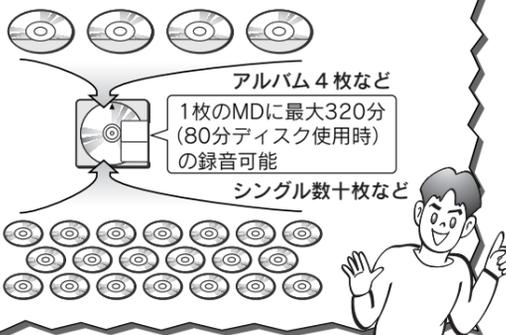
光デジタル端子のある機器に、市販品の光デジタルケーブルで接続すると、アナログ録音に比べて高音質での録音ができます。

ステレオやラジカセにつないで MD の音声をスピーカーから聞きたいのですが…

〈音声入力端子つきのとき〉

再生専用接続コードは付属していません。別売品をお買い求めください。

〈3.5mm ミニプラグの外部入力端子つきのとき〉

3.5mm ミニプラグコードと変換コード（AD-D1AC）は付属していません。
市販品や別売品をお買い求めください。

市販の3.5mmミニプラグコード（3極）だけで接続した場合は、方式の違いから「モバイル1ビットデジタルアンプ」本来の性能を発揮できません。
別売品の再生専用接続コードや別売品の変換コード（AD-D1AC）を使用して、再生することをおすすめします。
別売品の再生専用接続コードと別売品の変換コード（AD-D1AC）は、同じ変換回路を内蔵しています。接続する機器にあわせて選んでください。

■ グループ録音について

この１ビットポータブルMDレコーダーは、４倍の長時間録音ができるので、１枚の MD にたくさんの曲を録音することができます。（MDLP 対応）

グループ録音・再生を使えば…

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音することができます。
そのMDは、グループを選んで再生することができます。

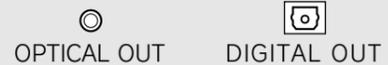
くわしくは、取扱説明書の43〜45、54〜56ページをごらんください。

■ デジタル録音とアナログ録音について

デジタル録音とアナログ録音には次のような違いがあります。

デジタル録音

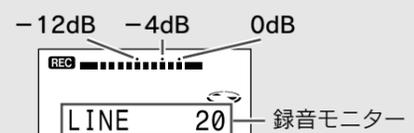
CDやMDなどのデジタル信号を、デジタルのまま録音する方法です。アナログ録音に比べて、高音質での録音ができます。

OPTICAL OUT　　DIGITAL OUT

アナログ録音

ステレオやラジカセなどのオーディオ機器での再生音（アナログ信号）を録音する方法です。

R L　　PHONES
音声出力/LINE OUT端子　　ヘッドホン端子

■ 録音レベルの調整

最も大きなレベルのとき、－4dBから0dBの間に振れるように調整します。

録音レベルを調整すると、目安として録音モニターが表示されます。

<デジタルケーブルを接続したとき>

録音モニターは、D.L. − 10dB ～ D.L. ＋ 10dB を表示します。

- CDから録音するときは、“**D.L. 0dB**” に、CSチューナーなどから録音するときは、“**D.L. +8dB**” を目安に設定してください。

<アナログケーブルを接続したとき>

録音モニターは、LINE（ライン） 0 ～ LINE（ライン） 30 を表示します。

- 外部機器のヘッドホン端子から録音するときは、再生する外部機器の音量を音が歪まないように出力を調整し、そのあと、本機の録音レベルを調整してください。

<マイクを接続したとき>

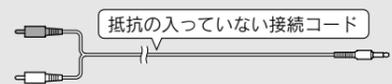
録音モニターは、MIC（マイク） L 0 ～ MIC（マイク） H 30 を表示します。

録音するときの録音レベルが小さすぎると、再生しても音が出ないことがあります。

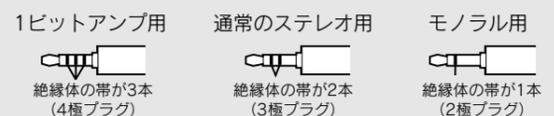
■ 長時間録音された MD について

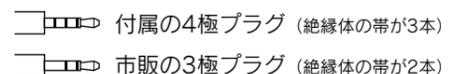
LP2(2倍長時間録音)、LP4(4倍長時間録音)で 録音された曲は、長時間再生に対応していない機器では、再生できません。
MDLP 対応の機器で再生してください。または、SP(ステレオ録音)で録音した MD を再生してください。

■ 抵抗入りの接続コードについて

抵抗の入っている接続コードを使って録音すると、音が小さくなります。
抵抗の入っていない接続コードを使ってください。

■ 1 ビット専用のヘッドホンプラグについて

1 ビットアンプ専用のヘッドホンプラグは、通常のヘッドホンのプラグと端子の形状がちがいます。

1ビットアンプ用	通常のステレオ用	モノラル用
絶縁体の帯が3本（4極プラグ）	絶縁体の帯が2本（3極プラグ）	絶縁体の帯が1本（2極プラグ）

モバイル1ビットデジタルアンプは、ヘッドホンへのケーブルをプラス側とマイナス側それぞれ左右独立分離することで、相互の信号の影響による音質劣化を最小限とする、高音質設計のフルブリッジ方式を採用しています。

付属の4極プラグ（絶縁体の帯が3本）
市販の3極プラグ（絶縁体の帯が2本）

付属の 4 極プラグヘッドホンは、1 ビットポータブル MD専用です。モバイル1ビットデジタルアンプの高精細なサウンドをお楽しみください。

マイナス側を左右で共有している市販の3極プラグヘッドホンでは、方式の違いから本来の高音質を十分に発揮できません。

また、付属のヘッドホンを他の機器で使用すると、片チャンネルしか聞こえない場合があります。